

# FOYER

つながる、ひろがる、あつまる  
ほわいえ

Special Feature  
熊本県芸術文化祭オープニングステージ  
ここにしかない、  
どこにもまねできない、  
ステージの感動を

中川ハカセの  
ピアノ&ホール解体新書  
ホールに響き渡る、  
ピアノとチェンバロの音色

What is the Opening Stage?



国内外で活躍する熊本のアーティストがこぞ参加

## ふるさとの宝を!

コンサートVol.4  
～復興から未来へ～

ソプラノ：青木萌乃  
歌手：下司愉宇起  
ヴァイオリン：柴田恵奈、龍野マリエ  
チェロ：龍野しずく  
サクソフォーン：山崎 明  
バンドネオン&アコーディオン：藤田勇人  
アコーディオン：市原朋奈  
箏：角田ちひろ  
ピアノ：角田大河、小野田美緒、正源司有加

～次代を担う若き演奏家～  
ヴァイオリン：小野田香音（小6）  
ピアノ：室田愛菜（中2）  
ヴァイオリン：園田 凜（高1）

【ゲスト】ピアノ：月足さおり

2021年7月18日(日) 13:00 開場  
13:30 開演  
熊本県立劇場コンサートホール

全席自由 一般 2,000円 / 大学生以下 1,000円  
※大変恐れ入りますが未就学児のご入場はご遠慮ください  
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため入場者を600人限定とさせていただきます

プレイガイド  
熊本県立劇場  
熊日プレイガイド、大谷楽器  
チケットぴあ  
(Pコード：197-940)  
ローソンチケット  
(Lコード：82218)

【主催】ふるさとの宝を! コンサート実行委員会  
【ご予約・お問合せ】B・Mプロデュース：090-4343-3105（春日）、Comodo arts project：096-288-4635（平日 10:00～18:00）

 熊本県立劇場  
KUMAMOTO PREFECTURAL THEATER

【企画・発行】  
公益財団法人 熊本県立劇場  
熊本市中央区大江2-7-1 〒862-0971  
www.kengeki.or.jp

【編集・制作・印刷】  
株式会社 ジャム  
熊本市中央区練兵町45早野ビル1階 〒860-0017  
www.jam-cf.com

# What is the Opening Stage?



ここにしかない、  
どこにもまねできない  
ステージの感動を

Special feature  
熊本県芸術文化祭オープニングステージ

その日、その時間、そのステージの上でしか出会えない。しかも、わずかな時間で済ませたいという濃密な時間の感動を共有できるのは、この広い世界のなか、劇場のホールという小さな箱にいる人たちだけ。熊本県立劇場が制作現場を担う、熊本県芸術文化祭オープニングステージは、例えてみれば、プロ、アマ、そしてジャンルを超えて渾然一体となったパフォーマン스가繰り広げられる、外からは聞くことができないびっくり箱のようなものです。毎年県立劇場の一大事業として、熱をもって取り組んでいるこのオープニングステージ。2005(平成17)年の開催から、国内外で活躍しているさまざまなアーティスト、熊本で活動する人たちを巻き込み、熊本でしかできない、熊本だからこそできるオンリーワンのステージを生み出してきました。今回の特集では、県劇が取り組んできたオープニングステージの軌跡をご紹介します。

## オープニングステージ、 そのはじまり

熊本県立劇場が企画し、制作現場を担っている、熊本県芸術文化祭オープニングステージは、毎年8月末から9月頭の間で開催されています。熊本県芸術文化祭のコンセプトである、「芸術を高め、文化を広め、次世代へつなぐ」の下、オープニングステージでは熊本県内外のプロ、アマ、ジャンルを問わずに、熊本県内で実現できる最高水準の舞台芸術をめざしてきました。  
毎年9月から12月にかけて民間の事業として開催されていた「熊本県芸術祭」。そして、1987(昭和62)年に、熊本県で開催された「第2回国民文化祭」を機に、翌年から熊本県が主催して開かれるようになった「県民文化祭」。このふたつのイベントを統合し、熊本県と熊本県文化協会による共催という形で「熊本県芸術文化祭」としてはじまったのが、2005(平成17)年のことです。第一回目となった芸術文化祭のオープニングステージは、日本舞踊や民謡など大衆芸能文化を一堂に集めた舞台を創作。熊本県文化協会の主催で各種団体の取りまとめや、舞台の制作、広報など、その業務は多岐



2014(平成26)年の「熊本能三昧」の舞台装置のデザインに、熊本デザイン専門学校の学生の作品が採用。



舞台衣装のスケッチ画。  
ここから実際にデザインが採用された。

化)をテーマにした創作舞台を上演しました。この時の舞台美術と舞台衣装デザインを、熊本デザイン専門学校の建築・インテリアデザイン科と、ファッションデザイン科の学生たちに依頼しました。複数集まった作品から選定し、実際に舞台装置、衣装として制作するまで学生たちの手によって行われました。それ以来、熊本デザイン専門学校では、舞台芸術を授業の一環として取り入れ、学生たちは県劇のホールや舞台を見学したり、能や神楽、舞台芸術についての理解を深める講義を県劇で実施するなど、相互交流が生まれています。また、2014(平成26)年に実施した「熊本能三昧」では、能の装置を熊本デザイン専門学校へ、フライヤーなどに使用する

県立劇場の大きな役割は、芸術文化祭オープニングステージの制作の立場として、招致したアーティストが表現に集中できる環境を整え、舞台に関わる多くの人たちが気持ち良く、楽しみながら参加できるように配慮することです。さらに、その企画・制作したステージを観た観客に、ここでしか出会えない感動を持ち帰ってもらい、イベントとして成功に導くことが最大のミッションです。そのためには、ステージを企画制作する私たち県立劇場が楽しむことが大きなテーマでもあります。これまでのオープニングステージでお世話になった方々を起点に、新しい出会いが網のようにつながって、広がっていくことが、ステージをつくりだす



今年度ステージのリハーサルの様子。コンテンポラリーダンスとバレエのステージを予定しています。感染症対策に細心の注意をはらいながら練習を重ねています。

### 舞台をつくることを どれだけ楽しめるか

タイトル文字を、熊日書道展でグランプリを獲得した熊本出身の大学生に依頼しました。その他、能舞台「大江山」に出てくる酒吞童子のイメージ画を、県劇の近隣にある大江小学校の児童に描いてもらい通路に展示するなど、さまざまな試みを行いました。

喜びであり、醍醐味でもあります。2020(令和2)年に企画していたステージは、新型コロナウイルス感染症の影響で2021(令和3)年8月29日に延期することとなりました。現在実施に向けて準備を進めています。このような不測の事態において、あらためて感じるのは芸術文化の灯火は、決して絶やしてはいけない、人々の心をあたたく照らすものであるということ。舞台芸術を通して得られるステージの上立つ人たち、観客席で観ている人たちから発せられる「熱」を糧に、これからも芸術文化祭オープニングステージの制作を続けてまいります。



ヤマカズ、こと世界的指揮者の山田和樹氏を芸術監督に迎えた3年間。

### さまざまな分野との コラボレーション

オープニングステージでは、ジャンルを超えたステージ上のコラボレーションや、国内外で活躍するトップアーティストと、熊本県内のプロ、アマ問わずに活動するパフォーマーが共演するなど、舞台上で繰り広げられる化学反応的に生まれる芸術が見どころのひとつとなっています。

その中でも、舞台芸術とは直接関係のない分野を巻き込んだ企画が、熊本独自の舞台芸術を生み出しています。2013(平成25)年に開催した「頂上現象」〜神楽☆ダンス☆美術〜では、30年前に県劇の公演をきっかけに完全復元を遂げた阿蘇・中江の岩戸神楽と、コンテンポラリーダンスの旗手であるコンドルズが、「五輪の書」をもとに、「山(大地、伝統文

熊本県内で実現できる最高水準の舞台芸術をめざし、芸術文化祭のオープニングステージの企画は1〜2年掛かりで行っています。回ごとに趣向を凝らし、これまで数々の公演で蓄積してきた幅広い人脈をたどりながら、プロ、アマを問わず、さらにパフォーマンズのジャンルを超えた世界観を模索しています。ステージというものは、時、場所、パフォーマー、アーティストとの化学反応で、その場、その時の感動を得られるものではありませんが、こと熊本県で開催される芸術文化祭のオープニングステージに関しては、熊本だから観ることができ、県劇だから生まれた唯一無二のステージを提示したい、と毎回関係者と知恵を

にわたったため、翌年の2006(平成18)年から制作全般を県立劇場が担うことになりました。県立劇場にとって、この芸術文化祭のオープニングステージの企画・制作は、現在に至るまで、年度の事業の大きな柱となっています。

### 県劇だから実現できる ジャンルを越えたステージ

しぼりだしています。

例えば、2009(平成21)年に実施したバレエ「白鳥の湖」では、県内7つのバレエ団体による合同オーディションを行い、男性の一部を除いてほとんどの出演者を熊本県在住・出身者で構成しました。有名なバレエ作品をテーマに組み立てたステージで、団体混合の出演者で構成するという異例のチャレンジでした。また、県劇開館30周年の記念コンサートが縁でつながった、世界で活躍する指揮者、山田和樹氏に2015(平成27)年から3年を通じた企画を依頼。1年目は吹奏楽、2年目は合唱、そして最後の年はオーケストラと毎年趣向を変え、3年を一連の流れとした企画でステージを制作しました。

### Highlight

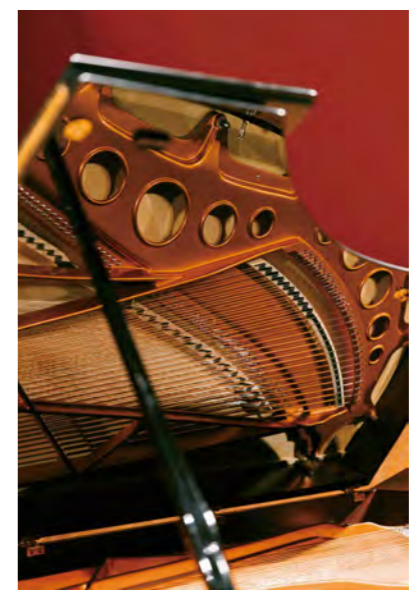
## 中川ハカセの ピアノ&ホール解体新書

ホールに響き渡る、  
ピアノとチェンバロの音色

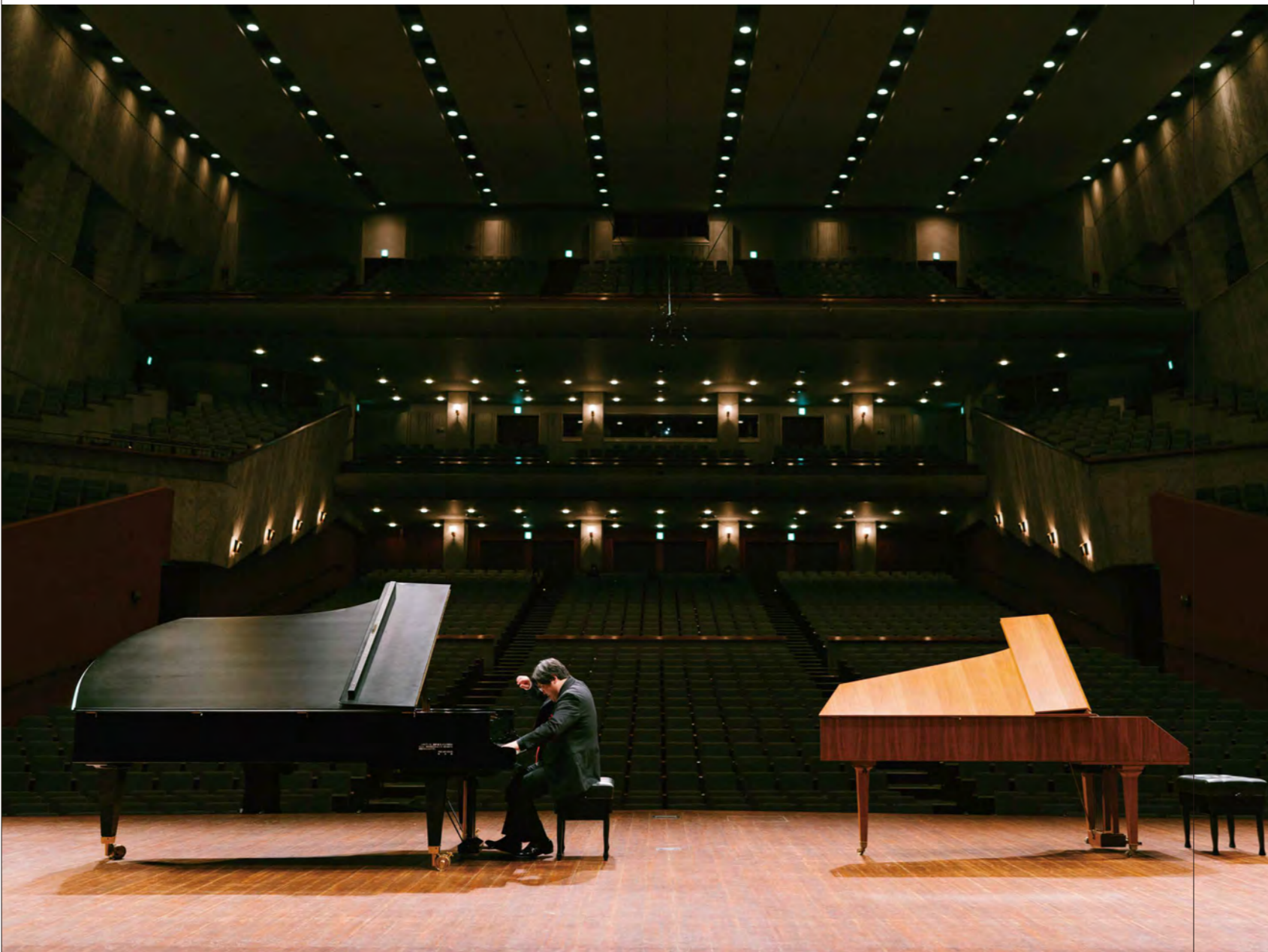
熊本県立劇場には、20世紀につくられたノイベルトのバツハ・モデルのチェンバロがあります。モダンチェンバロといわれるこの楽器は、古楽復興のために研究された中でできたもので、2段鍵盤、5つのペダル、1つのリュートストップで音色を変えられることができます。県立劇場が保有しているチェンバロは全国的にも珍しく、演奏することが可能な状態で整備されています。演奏される機会が少ないこの貴重な楽器を、より多くの方に知っていただき、劇場の良さを伝えたいと、ピアノニストの中川賢一氏に依頼し、「ピアノ&ホール解体新書」のワークショップを企画しました。中川氏はワークショップやアウトリーチなどの活動に積極的に取り組むアーティストで、こ

れまで県劇でも3回、ピアノ解体新書を開催した実績があります。4月24日土曜、コンサートホールで開催される予定の「ピアノ&ホール解体新書」でしたが、新型コロナウイルス感染症に対する県のリスクレベルが5（厳戒警報）に引き上げられたため急速中止となりました。公演中止の発表のタイミングは、中川氏が熊本入りし、県劇でのリハーサルを行う予定の日。公演直前での中止となった本企画をなんらかの形で残したいとの想いから、チェンバロとベーゼンドルファーについての動画を撮影することにになりました。

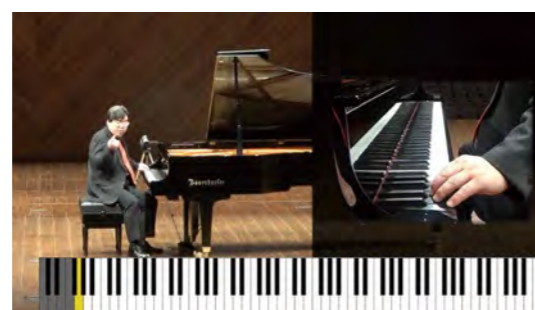
今回の撮影中には、県劇のコンサートホールの音の響きをスタッフで体感する一幕も。ステージ上で聴く音、観客席の最前列の真ん中、左右の出入り口付近、壁際、2階の最前列と移動しながら、中川氏が奏でるピアノ曲（同じ条件で同じ曲）を聴きくらべてみました。「ステージ上と最前列の席は距離的に近いが、ステージを降りるだけで音が響いているのがわかる」「出入り口付近は余韻がすっきりしている」などの感想が飛び交いました。中川氏は、今回のワークショップは残念ながらキャンセルになりましたが、県劇のホールの音の良さを再認識する良い機会になりました。ピアノを弾いて、良いホールだなぁ、とこんな機会じゃないと感じられない、財産となりました」とコメント。撮影した動画は、熊本県立劇場のYouTubeチャンネルで公開しています。



下 動画撮影の合間にも、県劇スタッフに向けたピアノの歴史や仕組み講座。終始和やかな雰囲気での撮影が行われた。  
左 屋根を上げた状態のピアノ。通常のワークショップでは実際にパーツを取り外し解体をする。



無観客のコンサートホールに響き渡る中川氏の演奏。あらためて音の響きの良さを確認できた一幕。



熊本県立劇場公式YouTubeチャンネル  
ケンゲキアートチャンネル  
www.youtube.com/user/kengekiweb



「ケンゲキアートチャンネル」  
で公開中！  
今回ご紹介した「中川ハカセのピアノ&ホール解体新書」の動画は、「ケンゲキアートチャンネル」で公開中です。ワークショップに参加予定だった方も、ピアノのことをもっと知りたい方も、県劇のホールに興味をもった方も、ぜひご覧ください。

### ◎公演案内

ピアニスト、中川賢一氏の演奏会のお知らせです。葦北郡津奈木町にある「つなぎ美術館」との特別連携企画。コンサートホールでは体験できない、いつもとは一味違うピアノの演奏会をお届けします。詳しくは、県立劇場のホームページでご確認ください。

Art×Music 中川賢一×つなぎ美術館  
日時 2021年11月14日(日)／時間未定  
会場 つなぎ美術館多目的ホール  
入場料 無料



中川 賢一 [なかがわ けんいち]

ベルギーアントワープ音楽院ピアノ科首席修了。ソロ室内楽、指揮で活躍する他、国内外のさまざまな音楽祭に出演。ワークショップやアウトリーチ、他分野とのコラボレーションを発売に行っている。(一財)地域創造公共ホール音楽活性化事業登録アーティスト。

まなびの風景  
SCHOOL  
SQUARE

学校法人 未来創造学園  
熊本デザイン専門学校



木の幹と枝はスタイルホームという素材。ひばりは毛糸で制作。大量の毛糸が必要になったため、熊本市内の100均で買い占めたとか。



員参加で制作が進められました。

県立劇場の正面玄関までのアプローチにある「情報回廊」と呼ばれる展示スペースに、ソーシャルディスプレイを保ちながら、チケットを手に(クチバシに)開演を待ち望んでいるひばりの大群。この情報回廊の空間デザインを担当しているのが、昨年県立劇場と官学連携協定を締結した熊本デザイン専門学校の学生たちです。情報回廊の空間デザインは、建築・インテリアデザイン科が2017(平成29)年から授業の一環として取り組んでいるもので、今回の作品「ひばり」は改修工事を終え、3月19日にリニューアルを迎えた県立劇場へ「開演おめでとう」のメッセージを込めて企画されました。大きな木の幹、6メートルに及ぶ枝、そしてたくさんのひばりたち(ゼビ、その数を数えてみてください)は、すべて学生たちの手づくり。使う材料を検討し、空間の中にもうまく納める方法を模索しながら、春休みのわずかな期間に、建築・インテリアデザイン科の1年生クラス全員参加で制作が進められました。



左 佐藤さんの作品「ひばり」のスケッチ画。クラス全員がこの画をもとに一丸となって制作に取り組んだ。  
右 熊本デザイン専門学校建築・インテリアデザイン科の千田先生と、今年2年生になった佐藤さん。

### 情報回廊に現れた 開演を待つひばりの群れ

### 劇場は、 芸術と学びをつなげる場

利用団体紹介  
PLAYERS  
SQUARE

「できないことができるようになる。その成功体験がダンスの醍醐味」と語る、リズムマーケット代表の中島東子さん。自らプレイヤーとして東京でヒップホップダンスの先駆者といわれるダンサーに師事し、熊本に帰ってきてからインストラクターとして働いていたスタジオを引き継ぐ形でリズムマーケットを立ち上げました。一般の人や、子どもたちが楽しめるヒップホップダンスを広めることをめざし、設立から18年。現在は3つの地域にある3校に、下は3歳から上は60代まで、幅広い年齢の生徒さんが通っています。リズムに乗って、体を使った表現は、運動神経とは関係なく、その人の内面を出していく過程にその楽しさはあるといいます。中島さん曰く「ダンスは体を動かす文化系」で、自己表現のひとつ。小学一年生から通っている女の子が、途中受験

などのブランク期間があってもずっとダンスを続け、今ではインストラクターとして働いているところを目の前にすれば、ダンスで得た成功体験や表現の楽しさが、いかに深く心に刻まれるものかわかります。リズムマーケットでは、年に2回、秋のミニ発表会と3月の大発表会を県立劇場で開催しています。2020(令和2)年の3月に予定されていた大発表会は、新型コロナウイルス感染症の広まりから急遽延期となり、県立劇場改修工事の直前であった9月によりやく実現に至りました。コロナ禍は通常のレッスンにも影響を与え、スクールを辞めてしまう人も多くいたといいます。「それぞれの考え方も違うし、対面でのレッスンの難しさもありましたが、こういう時だからこそ、楽しむ場をつくりたかった」と、細心の注意を払った上で、2021(令和3)年3月の発表会を開催。改修直後の県立劇場の演劇ホールは、音がとても気持ち良かった」と振り返ります。「最初はできなくて当たり前。ダンスの楽しさをもっと広めたい」と、これからのことを最後に語ってくれました。

ダンススクール  
リズムマーケット  
リズムに乗って表現できる  
ダンスの楽しさを  
伝えていきたい



中島 東子 [なかしま とうこ]  
リズムマーケット 代表



毎年県立劇場演劇ホールで開催される「リズムマーケット」大発表会の模様 ※写真は2019年の発表会。

舞台さんのお仕事道具

照明器具(ライト)

お客様からは見えないように配置されていますが、舞台には至る所に色々な種類の照明器具が設置してあります。照明器具は、レンズが組み込まれたスポットライトとレンズがないフラッドライトの大きく二つの種類に分けられます。

①スポットライトは、レンズの集光効果により必要な範囲を限定的に照らすことができます。レンズと光源の位置を調節して照射範囲を調整します。

②フラッドライトは、光源からムラなく均等な光が出せるため、舞台や背景幕を広範囲に均一に照らすことができます。そのため、あらかじめ設定された位置にセットするのとなります。

現在の照明器具にはフォーカスや機材の向き、角度に目盛りがあり、それを参考に器具をセットすることで大体の照射位置にセットできます。しかし、昔の照明器具にはそんな便利な機能はなく、職人的な感覚と経験での作業になります。ここが照



左)スポットライト 右)フラッドライト

明さんの腕の見せ所です。  
「この場面のフォーカス棒の引き具合はこの指の第2関節まで」

「明かりの範囲を舞台床の板目3枚分(約45cm)にして、舞台上部に吊り上げた時の広がり具合を1間(約1.8m)にする」など。

自分の体や舞台上のあらゆる部分を目印にし、明かりを調整していきます。

また、舞台上部にある照明器具(サスペンションライト)は、舞台下部で作業してから舞台上部に吊り上げます。その時に狙ったところにキレイに光を当てることができた時は嬉しいのですが、なかなか一発で合わないのが実情です。そのため、照明器具を何度も昇降させるので時間がかかります。他のセクションに迷惑をかけないように作業しますが、こだわるあまり「リハーサル、押します。照明さん待ちです」となることもしばしば。

今日も照明さんは舞台に最高の光を当てるために、舞台の「陰」で戦っています。

あなたの楽器見せてください

アンサンブル・ラボ・クマモト

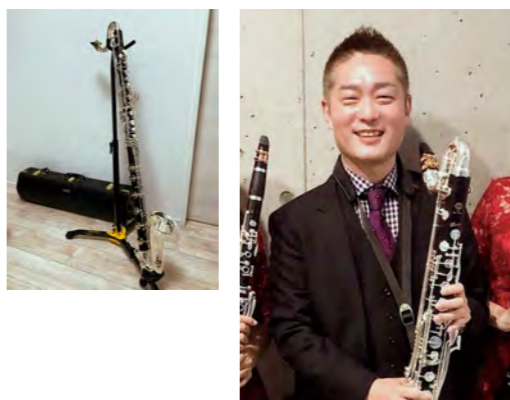
吉川 隼人 [よしかわ はやと]

バスクラリネット

クラリネットは、音域も広く、一般的に使われるB♭管だけでもアンサンブルを楽しむことができます。曲のレパートリーや表現の幅を広げたいと思いい、ここ数年バスクラリネットの購入を検討していました。今回、定期演奏会でバスクラリネットが必要だったこともあり、思い切って購入を決意しました。

しかし、1回目の緊急事態宣言直前だったこともあり、輸入品はどれも在庫がなく、友人を通じてやっと県外の楽器店で見つけた時は運命を感じました。オーケストラで自分のバスクラリネットを吹くのは今回が初めてです。セルマー製ならではの適度な抵抗感と音鳴りの太さを実感する度に、買って良かったと思います。

県劇では毎年、夏の吹奏楽コンクールやオーケストラの定期演奏会で演奏しています。県劇のステージに立つたびに、立派なホールで演奏できる喜びを感じます。仕事が忙しく、なかなか練習をする時間も取れないのですが、まずはこの楽器を自分の音として吹きこなせるよう頑張っていきたいと思います。



バスクラリネット (セルマー Privilege)

吉川 隼人 [よしかわ はやと]  
Ensemble Labo. Kumamoto クラリネット奏者  
Ensemble Chicago クラリネット奏者

アンサンブル・ラボ・クマモトの予定  
9月20日 Ensemble Labo. Kumamoto 第14回演奏会(開催予定)  
会場 熊本県立劇場コンサートホール



3月20日日本番の様子。  
衣装は熊本デザイン専門学校の学生の手によるもの

寄稿

劇団「市民舞台」  
「肥後アマビエ戀歌異聞」脚本  
松本 眞奈美 [まつもとまなみ]

熊本県立劇場プロデュース  
「肥後アマビエ戀歌異聞」

2021年3月20日  
熊本県立劇場 大会議室

伝統芸能には夢がある〜肥後アマビエ戀歌異聞の野望〜

2020年コロナ禍の中SNSを通じて一躍有名になった妖怪「アマビエ」。江戸時代の妖怪がTwitterというツールで蘇ったのがなんと今風だ。そのアマビエを題材に清和文楽の新作台本を書かないかと熊本県立劇場から誘われたのは凡そ一年前。文楽とは所縁のない私に話が回ってきたのは、文楽を知らない人にも分かり易い短編をといて狙いがあつたからだ。に、してもだ。文楽など一度観た事があるだろうか？程度の門外漢にそんな大事な台本を託してよいのか？最初はアイデアの提供ができればくらいの心づもりだったが、台本は私が通常書いているスタイルでよい事、あとは淡路人形座が浄瑠璃に書き換えて下さる事を聞き、それならと軽い気持ちで台本を引き受けてしまった。ところが、私が書いた十五分の短編は、人形浄瑠璃では一時間の超大作になるという。なんと

大きな誤算！そこからは「人形浄瑠璃的手法と現代演劇的手法」の演算の繰り返し。私が舞台の構想を伝え、それを人形振付の吉田史興氏が伝統の型に変換、清和文楽人形芝居保存会が演じる。それはまるで浄瑠璃人形のように三位一体の作業。呼吸を合わせてゆっくりと決して駆け足では出来ない作業だった。

一方、熊本県立劇場は物語を進行する浄瑠璃の太夫のように、多くの関係者を巻き込み、公演・舞台の制作を進め、そこに三味線のように熊本デザイン専門学校の衣装が色を添え、人形達をビジュアルから「アマビエ」仕様に変えていく。

村の神事や娯楽として根付き、伝承という形で継承してきた清和文楽人形芝居保存会の中では、アマビエの作られ方はとてもシステムティックで型破りだったかもしれない。そして、出来上がった本作は「人形浄瑠璃の手法を

とった新しい演劇」(by吉田氏)であり、「小劇場的人形浄瑠璃」(by松本)。まさしく令和の清和文楽だった。

暗い話題の続く中、少しでも明るい話題をと雪女をアマビエに変化してみたという清和文楽のユーモラスなSNS発信から端を発した新作「アマビエ」。現代と伝統の融合はこの時から約束されたものだった。

そしてお披露目公演を終えた今、もしこれが清和文楽のニュースタンダードとして伝承されていたらと想像してみよう……。伝統芸能には時空を超える夢がある。



公演のダイジェストとメイキングの様子は  
ケンゲキアートチャンネルで公開中!  
<< YouTubeでチェック!

